

新石材の調達について

1. 新石材調達の基本事項について

1) 石材使用の原則

2) 新石材使用の決定フロー

3) 新石材選定の基本方針

2 新石材調達の課題

1) 必要量

2) 採石場の出荷可能数

3) 入手が困難な大型新石材

3 新石材の調達方法

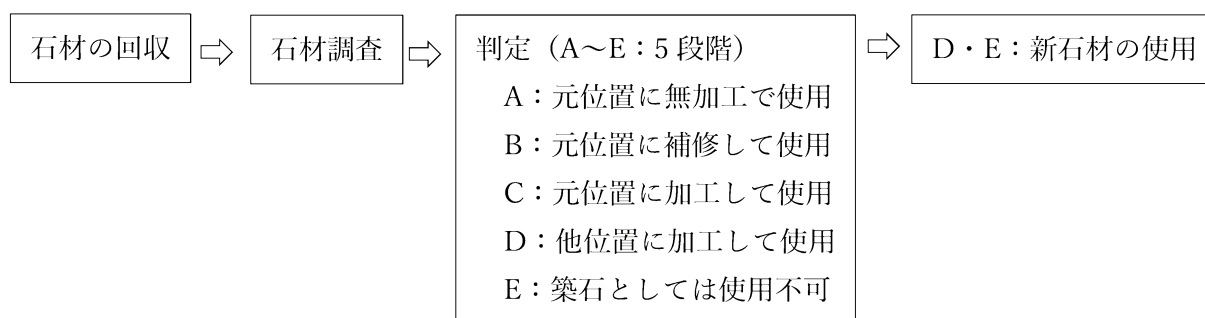
新石材の調達について

1. 新石材調達の基本事項について

1) 石材使用の原則

原則：石垣の石材は、元の位置で、元の石材で、元の形で（無加工で）

2) 新石材使用の決定フロー



3) 新石材選定の基本方針

基本方針：同質の（同一種）の補充用新石材を購入

①産地：歴史的知見に立って → 備讃瀬戸産

②種類：花崗岩

③外観：色目・黄色（錆） 目の粗さ・粗目

④物性値：一軸圧縮強度・78.2N/mm²以上 比重・2.56 g/cm³同程度 吸水率・0.93%同程度

2 新石材調達の課題

1) 必要量

石材の破損状況からの課題

復旧石垣全体数量（6,000石と想定）に、A面石垣の破損率（約20%の破損率）を適用すると、必要新石材数が $6,000 \text{ 石} \times 20\% = 1,200 \text{ 石}$ と大量となることが予想できる。

2) 採石場の出荷可能数

採石場の出荷可能数からの課題

1 か月あたりの出荷可能数は大量とはならない。現場が必要とする量と出荷量に差が生じると工事の進捗に影響がでる。

3) 入手が困難な大型新石材

採石場の採石可能サイズからの課題

大型新石材（石垣下段の角石など）については、出荷ができない採石場や、加工の手間などから出荷可能数量も少ない。

3 新石材の調達方法

新石材の調達方法としては、①「大量の新石材が必要となる」、②「調達が工事の進捗に影響する。」などの課題があり、工事の工程から新石材の発注計画をたて新石材を購入することが望ましいことから、工事の中で購入調達する予定。